

平成23年（2011年）8月1日発行

第4回 学園協議会を開催



学園協議会において挨拶をする大川理事長

本学園の創立記念日である6月29日（水）、第4回学園協議会を駒場キャンパスの100周年記念ホールにおいて開催した。本会は平成19年の学園創立100周年、大学創立40周年を期に、創立記念式典をより建設的な全学園の意見交換の場にすることを目的として翌平成20年から開催、今回で4回目となる。主な出席者は、学校運営を担う本学園の理事、監事および法人、大学、中学校、高等学校、専門学校等の幹部教職員である。100余年にわたる本学園の歴史を振り返り、現状や将来について忌憚のない意見交換が行われ、親睦を深めた。当日は二部構成となっており、11時から第一部の学園協議会、12時30分から第二部の懇親会が行われ、14時に解散となった。

第一部の学園協議会では、はじめに大川陽康理事長、次いで大森和夫駒場高校校長から創立記念日にあつた。講演は1時間半近くにも及び、学園協議会にふさわしい内容となった。その後、柳澤学長の質問を皮切りに質疑応答が行われ、学園協議会は終了した。

午後からは、場所をスチューデントホールに移し、第二部の懇親会を開催した。7月2日（土）午後2時、日本工業大学駒場高等学校百周年記念ホールにて、標記の集いを開催した。当日は、現職教員50名のほか、来賓、大学教職員、教職希望の学生など80名、総勢130名が参加した。

①「技術・家庭技術分野の教師となって」埼玉県さいたま市立大宮西中学校教諭 宮内 智氏（平成16年3月システム工学科卒）

②「総合学科の現状と課題」茨城県立江戸崎総合高等学校教諭 道川 俊氏（平成18年3月電気電子工学科卒）

③「教員免許更新講習について」工業教育研究所長 原田 昭

④「平成24年度の入試」入試室長 丹澤祥晃

⑤「教員免許更新講習について」工業教育研究所長 原田 昭

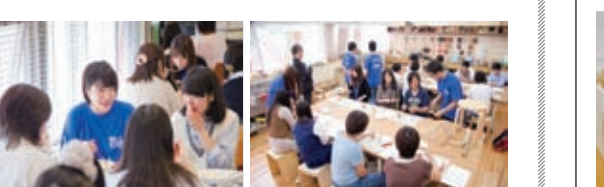
⑥「平成24年度の入試」入試室長 丹澤祥晃

⑦「教員免許更新講習について」工業教育研究所長 原田 昭

⑧「平成24年度の入試」入試室長 丹澤祥晃

6/4（土）オープンキャンパス開催報告

6月4日（土）、オープンキャンパスが開催された。当日は天候に恵まれ、大勢の高校生や保護者の方が参加。参加者の希望に合わせて選べる体験授業や個別進路相談会、保護者説明会、女子向け特別プログラムなどが好評だった。



学群交流会では高校の施設を見学

オープンキャンパスのお知らせ

NIT 夏のオープンキャンパス

2011 8/20（土） 9/11（日）
無料バスを運行！詳細は本学 WEB サイトでご確認ください。

オープンキャンパス・進学相談会

2011 10/22（土） 11/26（土）

各開催日とも11時開始（ランチ付き）

詳細はホームページでご確認ください。
事前に申し込まれた方にプレゼントを差し上げます。

お問い合わせ・お申込み先：日本工業大学 教務部入試室
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp
URL: www.nit.ac.jp 携帯 URL: www.nit.ac.jp/k

第7回 本学卒業現職教員の集い

学園協議会に参加した駒場中学校・高校、専門学校、大学の教職員が集まり、互いに情報交換をするなど、交流を深めた。本学園の教



河村入試広報主任による講演



懇親会での乾杯



44年目を迎えた宮代キャンパス（主要部）。エントランス周辺をリニューアルし、旧図書館の南（画面では上方）に18号館を新設した。2011年5月撮影

今年度開催のコンテスト、イベント

～高校生のみなさん、ぜひご参加ください～

第3回3-D CADプロダクトデザインコンテスト



エントリー締切 8/15 結果発表授賞式 10/16
3D-CADを駆使し、斬新かつ独創的なアイデアをコンピュータ上で表現してください。対象は高校生で、テーマと自由デザインの2部門。優秀作品は実際に3Dオブジェに加工し、お渡しします。

作品送付先／お問い合わせ先
機械工学科 3D-CADプロダクトデザインコンテスト事務局 長坂保美
TEL: 0480-33-7619 E-mail: nagasaka@nit.ac.jp
http://leo.nit.ac.jp/~nagasaka/pd-contest/index.html

第25回 建築設計競技



提出期限 8/31 結果発表 9月末
高校生を対象とした建築設計の腕試しの場として、また本学建築学科の設計教育活動の一環として、毎年開催しています。今回の課題は「五感に響く『いえ』」です。

作品送付先／お問い合わせ先
建築学科 建築設計競技委員会
TEL: 0480-33-7681 E-mail: kenchiku-compe@nit.ac.jp
http://www3.nit.ac.jp/kenchiku/compe.html

第5回 マイクロロボコン高校生大会



申込締切 8/27 開催日 9/10
わずか1インチ（2.54cm）角の大きさの「マイクロライントレースロボット」を設計・製作していただき、走行競技用コース1周の最短時間を競う、高校生対象の大会です。

お問い合わせ先
工業教育研究所 原田 昭
TEL: 0480-33-7512 E-mail: akih@nit.ac.jp
http://ise.nit.ac.jp/mrc.html

第15回 スターリングテクノロジー



申込締切 9/11 開催日 11/12
自作スターリングサイクル機器の性能とアイデアを競う競技会です。人間乗車、RC、宙返り耐久、ミニ速度、クーラの5クラスで競われ、小中学生から高校生、一般の方まで参加できます。

申込先／お問い合わせ先
埼玉大学総合研究機構内 運営委員長 松尾政弘
TEL&FAX: 048-858-3098 E-mail: stirling@jcom.home.ne.jp
http://members.jcom.home.ne.jp/stirling/

東日本大震災 支援金・見舞金配付状況

東日本大震災により被災した学生に対する支援として、工友会（同窓会）から550万円、後援会から200万円が本学に寄付された。

これらの寄付金は、当面の生活支援金として被災した学生に配布された（6月20日現在746万円）。これ以外に大学、後援会、教職員組合からの見舞金も配付された（同日現在295万円）。配付状況は表に示す。

学生や保護者から速早い対応と心遣いに感謝の電話や手紙が多く寄せられている。なお、これらの支援金・見舞金および授業料等減免の手続きの期限は9月20日（火）で、手続きが遅れる

支援金および見舞金の配付状況

(平成23年6月20日現在)

県名	被災状況							支援金および見舞金の配付
	家計支持者の死亡等	全壊(焼)	半壊(焼)	流出	床上浸水	床下浸水	一部損壊	
青森	-	-	-	-	-	-	-	0
岩手	-	2(1)	-	3	-	-	2	7(1)
宮城	1	1	1	-	-	-	3	6
福島	-	-	7	1	-	-	21(3)	34(3)
茨城	-	-	5	-	-	-	64(1)	69(1)
栃木	-	-	-	-	-	-	2	2
計	1	3(1)	13	4	0	0	92(4)	118(5)

※（ ）内の数字は平成23年3月の卒業・修了者で、対象者数の内数

今夏の節電への取り組み

契約電力が2,780路の大口需要家である本学は、電気事業法第27条の適用を受け、7月1日（金）から9月22日（木）までの間、契約電力の15%を削減するよう義務付けられた。本学では、平成13年より積極的な省エネ改善活動と運用で、当時の契約電力2,980路を削減した経緯があるが、今夏の国からの要請に対応すべく、学長を中心に以下の「エネルギー使用の管理計画」を実施し、「使用可能電力2,363路」を遵守する。

【エネルギー使用管理計画】

一、照明電力削減（▲30%目標）

① 不要な照明器具の電源を解線②照明スイッチに用途別色分けシールを貼り使用制限

二、輪番空調機停止（▲20%目標）

① 建屋毎にグループ分けし、2時間づつ空調機停止（授業中の教室は除外）②空調機設定温度を28度。③中央監視により使用可能電力値を超えそうな時に空調機の強制停止

三、その他

①エレベータの運転減②外気による夜間冷房化、以上の目標を達成することで、埼玉県条例である「地球温暖化効果ガス削減2020年までに▲25%」にも大きな効果が期待できる。

専門職大学院の院生にとつての夏学期

この専門職大学院だよりを、読者の皆さんがご覧になる8月には、こちらでは夏学期が始まっている。本大学院は社会人対象の一年制であるため、8月にも授業の予定が組まれている。

この時期になると、仕事と学習の両立が出来るようになる。これについて、専門職大学院生諸君の心構えとして、宮代の学部学生、大学院生の皆さんが社会人になってからの研鑽の参考として紹介したい。

まず、社会人の場合、職場の協力がなければ、仕事と1年間の大学院を両立するのは難しい。入学の前から、入学後の仕事の進め方や、職場環境などの準備を行う必要がある。また修了後に学習したことをすぐ活用できるかと言えば、理論と現実のギャップにぶつかる事も多い。とはいえ仕事は1年サイクルで廻っていることが多く、1年たてばどんな場面で学習したことを活用すれば良いかが見えて来る。この準備と活用を含め、3年単位で考えることが大切で、夏学期はその

とが必要なのである。院生としての1年間は、まず春学期に授業や仲間との議論を通じ、多くの新たな知識を学ぶことから始める。知識のシャワーを浴びているようなものである。ここで、実に多くの事柄を学ぶ必要があることに気づく。先の「もう3分の1」の発言の理由だ。

秋学期になると特定課題研究が始まる。これまで学習した知識を活かし、自社の問題の実践的な課題解決を研究する。冬学期には、その研究成果を様々な場で発表し、教官・先輩・仲間から時に厳しい批判も受けつつ完成する。これらを通じて、職場の中で直面する厳しい場面でも挫けない心のあり方も体験する。また、同じ境遇を経験した仲間と

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集 (日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程

＊機械工学専攻 ＊電気工学専攻 ＊建築学専攻

＊システム工学専攻 ＊情報工学専攻

■平成24年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日程			
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成23年9月21日～9月28日	10月6日	10月14日	平成24年1月25日
二次募集	平成24年2月6日～2月14日	2月22日	3月2日	平成24年3月12日

お問合せ先：教務部教務課 大学院入試係

TEL 0480-33-7507 URL <http://www.nit.ac.jp>

平成24年度入試概要

・各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」でご確認ください。

専門職大学院オープンキャンパス

■パネルディスカッション ■キャンパスツアー
■説明会 ■模擬授業 等を予定

2011

10/29(土)
12/3(土)

2 / 4 (土)
※各日とも13:00開始
※詳細はWEBサイトへ
<http://mot.nit.ac.jp/>

専門職大学院 2012 年度入学試験日

第1回募集 第2回募集 第3回募集 第4回募集
2011/9/11(日) 2011/11/13(日) 2012/1/15(日) 2012/2/26(日)

お問い合わせ先

日本工業大学 専門職大学院
TEL.03-3511-7591 Mail: mot@kanda.nit.ac.jp

ISO定期サーベイランス審査報告

定期サーベイランス審査が5月20日（金）・21日（土）に行われた。今回は「法的およびその他の要求事項の遵守」「目的・目標に関するシステムとパフォーマンス」「内部監査の実施・有効性」を重点に審査された結果、マネジメントシステム（PDCAサイクル）の「C」にあたる内部監査とマネジメントレビューが有効に機能していると認められた。また、「エコ大学ランキング私立大学部門第1位」「関東地区電気使用合理化委員会最優秀賞」の受賞も審査の大きなポイントとなり、確実にパフォーマンスの向上が図られているとの評価を得ることができた。しかしながら、法規制改正に伴うタイムリーなマニュアルへの反映、食堂排水が規制値を超過する等の改善点も指摘された。今後も本学の環境管理活動のさらなる改善に向け、これらの課題を解決するため全学で取組んでいく。



学生環境推進委員会の部屋を訪れた審査員

学生自治会主催の主な学生行事

7月2日（土）、学生自治会が主催するボウリング大会が開催された。数ある学生自治会の行事の中でも、人気の高い行事の一つだ。今回も募集をかけて早い時期に受付終了となった。当日は、18時30分からビックホール杉戸の34レーンすべて貸し切って行われた。1チーム4名で構成され、1名が2ゲーム行う。成績上位者ならびにチームには、

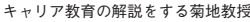
やバンドライブなど様々な企画が行われる。そして、最後を飾るのは、打上げ花火。今年も100発を超える花火が夏の夜空を彩り、夏祭りは締めくくられる。学生たちは、春学期定期末試験終了後から9月20日（火）までの約2ヶ月間の夏季休業となる。その間には、夏合宿を行うクラブ団体や委員会も多い。運動を取りまとめている体育会では、1年生を対象に普段のクラブ活動では体験できない他のクラブとの



ボウリング大会の様子

交流を図ることを目的としたフレッシュマンキャンプを計画している。新潟県妙高市にある赤倉山荘で8月3日（水）から5日（金）まで、2泊3日の日程で実施する。

・東日本大震災被災者支援奨学金制度があります。詳細は、入試室までお問い合わせください。
・専門高校入試（A 工業科）および一般推薦入試（指定校）については、2012受験ガイドおよび募集要項をご確認ください。
・お問い合わせ先：入試室 Tel 0480-33-7676



第29回教育改革シンポジウム開催報告

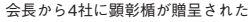
新たなキャリア支援に向けて

歴史的価値のある工作機械 4 機種の表彰式を挙行

械の名機4機種 前号参照
が選ばれた。この結果、こ
れまでに顕彰された機種は
合計50に達し、そのうち21
機種が工業技術博物館内に
展示されている。

表彰式には大川理事長、
柳澤学長など学園幹部も出
席し、会長挨拶、審査経過
報告、顕彰機種の概要紹介

読)、受賞企業を代表して和井田製作所の岩崎年男社長から謝辞があった。終了後、記念撮影をし、祝賀会に移り、柳澤学長の挨拶、受賞企業各社代表の挨拶の後、乾杯を行い懇談した。当日は、表彰式に先立って、工業技術博物館後援会の第21回総会が開催され、



長からは、学生の就職意識の現状や、リテラシーやコミュニケーション能力を踏まえて、就職支援の充実に向けての体制・決意等が述べられ、小西主任からは、就職総合支援システムの利用状況と効果についての説明があった。最後は、活発な質疑応答で締め括られた（参加人数二二八名）

大川理事長の挨拶の後、平成22年度の事業・決算報告、23年度の事業計画・予算案が承認された。ついで博物館内の見学会が開催され、これまで顕彰され館内に展示されている機種、最近収集した機種を主体に紹介された。祝賀会は後援会員の懇親会も兼ねており、学園幹部、顕彰企業、後援会員の間で、顕彰機種や工作機械産業の状況、博物館などに関する話が尽きず盛会であった。



歴史的価値のある工作機械の顕彰 表彰式

会長から4社に顕彰匾が贈呈された

今思ひ出すと大学・大専私の社会人としての基礎れた。野球部時代、新東一クに所属し、1年生かを任せられ、いい気になったついでにみれば孤立しているのリーダースhipを教える始めは嫌いやだったものの、いつしかかけがえの無い友人ができ、思い出と経験を与えてくれた。研究室内で寝食とともにした先輩や後輩との、漫画で見るような貧乏生活。そして研究で学び得た、寝ずに結果がでるまでやり続ける根性。日本工業大学での多くの経験は、社会人基礎力を身に着けさせてくれた。

現在私は、リーフラスビジネスで地域貢献をすビジネス、という分野の企業社は『スポーツを変えをモットーに、スポーツ

現在私は、リーフラス株式会社というビジネスで地域貢献をする、ソーシャルビジネス、という分野の企業で働いている。弊社は『スポーツを変え、デザインする。』をモットーに、スポーツスクールの指導、

また、なぜ工業大学からスポーツなの、という質問には、未だに返答に困る。一つ言えるとすれば、大学生活で得た全ての総括が今の働く環境に至っているということだ。前述した大学生生活では、運動や勉強だ

大学生活で学ぶもの、そして社会に出て経験するものに一切の無駄はない。とにかく日々全力で生き抜いていくことだ。私も日工大の卒業生として恥じない社会人になっていく。お互い成長し続けていこう！

成長し続ける!

始めると、部下を持ちリーダーとして働いた。東京、東日本の組織マネジメントを行った時支えてくれたのは、やはり大学時代に教えられたものの全てである。今は、福岡本社にて会員データの分析や、社員の実績管理、会社の予算管理や売上げサポートなど多岐に渡って行っており、院生時代

今思い出すと大学・大学院での6年間は私の社会人としての基礎基本を形成してくれた。野球部時代、新東京野球連盟1部リーグに所属し、1年生からクリーンナップを任せられ、いい気になっていた私は、気がついてみれば孤立していた。そんな私に真

運営やプロスポーツマネジメント。アスリートや、障害者スポーツ支援。子どもたちに、一泊二日の合宿や、スポーツ大会、一日体験活動などの企画運営をしている。会員数は26,000名、社員数360名、全国15都市、海外2支社の全国規模の会社

けでなく、人間力を学んだ。大学院修了時には、中学教諭を目標にしていたが、現職との出会いは突然で、大学で学んだ人間力を存分に発揮できると感じ、飛び込んだのである。

今年度の就職状況

企業の採用動向と支援スケジュール

「イダンス」を6月末に2回にわたり実施した。

現在の就職状況と今後の活動に対する動き方、注意

A man in a dark suit, white shirt, and patterned tie is speaking at a podium. He is wearing glasses and has short dark hair. The background is a plain wall with a sign that reads "デザインネットワーク" (Design Network) in Japanese.

また、7月以降は就職支援課員が卒業研究指導教員と密に連絡を取り合いながら研究室へ出向き就職指導を行う「出張ガイダンス」も実施した。学生を「待つ」のではなく、こちらから「仕掛ける」指導体制に変えることで、より

また、本学オリジナルの「就職総合支援システム」を利用して、自宅で最新の求人情報や受験報告書の検索が出来る。就職活動は最後まで諦めないことが大切。粘り強く活動すれば、必ず自分に相応しい企業が見つかるはずである。どうか、就職支援課を大いに利用してほしい。



ない学生が多くいるため、このような状況を踏まえて就職支援課では未内定学生に対し「フォローアップカ

ントリリーシートや履歴書の添削、模擬面接実施のため、就職支援課を大いに利用するようにとの指導を行うと同時に、学内合同企業説明会参加企業の「採用継続企業一覧」を渡し、まだ、大手企業も採用を継続しているため、自分から企業へ積極的にアプローチをするようにとも指導した。

学生に近づくことができ、一人ひとりに対する決め細やかな指導が行き届くと考え、実施した。

今後、秋以降は、学生の内定状況を確認しながら10月中旬に第4回目、12月上旬に第5回目の「学内合同企業説明会」を実施する予定である。企業の業績回復によっては前半見合わせていた採用を再開することも考えられるため、出来るだけ多くの企業情報を掴み、積極的に行動していただきたい。

平成23年度 出前授業プログラム

今年度は、5月に出前授業プログラムを全国の工業高等学校や高大連携校等約780校に配布するとともに、授業プログラムを本学のホームページに掲載し、出前授業の案内を行った。なお、出前授業の実施は5月から始まり、すでに13回の授業が予定されている。平成22年度の実施回数は、78回、受講者数は3507名であった。今年度は、100回を超えることを期待している。

また、研究室インターシップも各学校に周知しつつあり、申し込みが増える傾向にある。今年5年目となるが、高等学校側から「生徒の進路決定に有効である」との評判も伝わってきている。

引き続き本学教員の理解と協力・支援を得ながら一層の充実を目指し、高等学校の生徒・先生方の期待に沿えるよう努めていく方針である。



都立蔵前工業高校での授業の様子

出前授業実施・予定一覧

平成23年6月16日現在

	実施日	コマ数	受講人数	実施校	担当教員	題目
1	5/27(金)	1	15	埼玉県立三郷工業技術高等学校	石川 孝	C6 どこでもコンピュータ
2	5/28(土)	2	51	群馬県立藤岡工業高等学校	岡崎 昭仁	M19 大学でのクルマづくり ー学生フォーミュラの現場からー
3	5/28(土)	2	60	群馬県立藤岡工業高等学校	木村 貴幸	E 次世代電力ネットワーク“スマートグリッド”が分かる授業
4	6/21(火)	1	22	静岡県立伊豆総合高等学校	神 雅彦	M9 Ultrasonics 静かな機械エネルギー「超音波」の不思議体験
5	7/4(月)	2	40	群馬県立伊勢崎工業高等学校	佐藤 茂夫	P2 「もったいない」精神で毎日をみなおす
6	7/8(金)	1	60	東京都立荒川工業高等学校	吉田 清	E11 携帯電話の電気代って1年間いくら?(電気のお値段)
7	7/13(水)	2	25	東京都立杉並工業高等学校	勝木 祐仁	L7 図面で住宅を読む
8	7/21(木)~22(金)		20	群馬県立安中総合学園高等学校	中里 裕一	S6 挑戦!次世代ロボット
9	9/13(火)	2		みやしろ大学	瀬戸 真弓	L5 福祉の用具で暮らせる住環境
10	9/14(水)	2	36	埼玉県立浦和工業高等学校	佐藤 杉弥	H6 平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
11	10/24(月)	3	25	新潟県立新潟東高等学校	長坂 保美	M7 3次元CADを学ぶ
12	11/2(水)	2	80	栃木県立栃木工業高等学校	吉田 清	E12 次世代の電気自動車
13	11/2(水)	2	80	栃木県立栃木工業高等学校	中里 裕一	S6 挑戦!次世代ロボット

埼玉県学内見学

5月18日（水）、埼玉県4町の各首長で組織している埼玉県学内見学視察に訪れた。このたびは、松伏町、白岡町、杉戸町、宮代町の各首長のほか、東部地域振興センター所長、利根地域振興センター所長である。当日は、渡辺副学長から本学の紹介があり、その後、LCセンター、太陽光発電設備、工業技術博物館、蒸気機関車を視察。視察先では、担当者からの説明に熱心に耳を傾けていた。

後援会 定期総会実施報告

後援会だより

報告「第3号議案「平成23年度事業計画」、第4号議案「平成23年度予算」、第5号議案「理事・監事の銓衡」は、慎重審議の上、全て承認され総会は無事終了した。平成23年度の後援会理事は118名、監事2名。執行部は次の通り。

会長 出井栄一（埼玉）
副会長 大野裕一（千葉）
小沼真一（群馬）
荒木正行（山形）
武知美穂（愛媛）
福士晃昭（青森）
城間良則（沖縄）
佐々木定勝（秋田）
小坂幹雄（長野）
田代公男（静岡）



教育懇談会では教員が保護者の相談に対応

NACK5／文化放送 ラジオ収録

6月8日（水）、FM NACK 5「夕焼けSHUTTLE」に柳澤学長と機械工学科の小野寺星子さん（3年）、吉沢麻由さん（1年）が生出演した。番組では学長が「鳥人間 日野大尉の夢 果たせるか」といった自作の川柳を披露。二名の学生はフォーミュラ工房での日頃の取り組みや今後の目標を発表した。本学の教育の特長である、工房教育「14の工房によるカレッジマイスターの養成」を紹介するなどモノづくりへの夢を視聴者にアピールする内容であった。

また、7月4日（月）から7日（木）まで文化放送「レコメン！」に波多野教務部長・英語教育センター長と上野裕太さん（大学院工学研究科博士前期課程システム工学専攻）が出演した。本学の実工学教育と、毎日が留学気分、楽しく学べる英語教育センターのユニークな取り組み「エンジニアのための英語教育」などが紹介された。上野さんは「オハイオ州スカラシップ留学プログラム」（埼玉県留学支援事業）に選ばれた理由と今後の抱負を熱く語った。



NACK5の生放送終了後の記念撮影

総会終了後には、学内見学が実施された。懇親会も行われ、会員及び教職員らが懇親を深めた。

▼今年も夏季休暇中の9月3日（土）から10月2日（日）にかけて、全国22会場で行われる。

非行防止ボランティアの活動について

去る5月28日（土）、さいたま市の埼玉県警本部にて、「埼玉県警察少年非行防止学生ボランティア（通称Peers）」の委嘱式が行われた。本学からは学生環境推進委員会の委員を中心に23名が委嘱状の交付を受けた。

このボランティアは警察が実施する防犯キャンペーンや支援活動を通して、兄・姉世代の立場から少年に対して助言・指導を行う事により、非行防止と健全な育成を図る事を目的としており、平成16年に発足、以来積極的な活動を行っている。委嘱式の後、学生達は

NIITクリエイイト株主総会開催報告

NIITクリエイイトの第44回定時株主総会が5月28日（土）に開催された。席上、まず佐藤建夫社長より、当期の事業経過と決算内容に関する報告があり、質疑応答を経て満場一致で承認された。その後、任期満了に伴って取締役6名が選任（うち5名重任）され、社長には佐藤建夫氏が再任された。佐藤社長より、引き続き学生諸君の生活に

シニアチャレンジ講座秋学期受講生募集

学生と共に学ぶ開放講座「シニアチャレンジ講座」（埼玉県との協定事業「大学によるリカレント教育」）の受講生を募集する。対象は県内在住55歳以上の市民。開講科目は4つ、科目名（担当）は、次の通りである。「新エネルギー技術と環境」（森田登教授）、「住宅史」（波多野純教授）、「世界遺産とアジアの建築」（黒津高行教授、成田剛准教授）、「まちづくりと福祉」（瀬戸眞弓教授）。要項は大学ホームページからダウンロードできる。（URL：http://www.nit.ac.jp/）問い合わせ先：生涯学習センター

第4回留学生交流会開催



柳澤学長も留学生と交流

留学学生交流会が、6月21日（火）午後6時30分から学友会館で開催された。会の直前、篠を突く大雨に服をびしょびしょに濡らして留学生たちは会館へ駆け込んだ。

平成19年から開催しているこの会は今年で5回を数える。新入生はもちろん在籍している留学生同士とのさらなる交流・親睦を図ってもらうことを目的として

国外出張

永建設勤務。

◆渡部修一教授（創造システム工学科）／出張先「タイ（6／29～7／3）／目的「KUMUTTにおける研究プロジェクトの打合せおよび施設見学」

◆鈴木敏正教授（創造システム工学科）／出張先「イギリス（7／9～7／18）／目的「第9回窒化物半導体国際会議参加および研究発表」

◆八木田浩史教授（ものづくり環境学科）／出張先「オーストラリア（7／10～7／14）／目的「第8回持続可能エネルギーと環境技術に関するアジア太平洋地域会議における情報収集」

◆丹澤祥晃准教授（ものづくり環境学科）／出張先「アメリカ（7／11～7／14）／目的「動力エネルギー国際会議2011における論文発表」

宮代江戸の日

宮代町だより 172号



今年の夏も昨年に負けないくらい暑いですね。しかも、今年は電力不足に対応するため、節電15%を目標に暑さをしのがなければなりません。宮代の小中学生は、7月9日を「宮代江戸の日」として、エネルギー削減作戦に取り組みました。「風呂の残り湯で打ち水をする」「風鈴をつける」「怪談話をする」といった電気を使わないことや、「家族が1つの部屋に集まる」「エアコンを短時間でストップ」といった消費電力の削減を実践しました。節電でどこに行っても暑い夏。覚悟を決めて体と相談しながら、15%節電に挑戦しよう。

編集後記

▼人生は、そして生きることは、片道切符である。最近、特にその感を深くしている。

▼というの、311の東日本大震災以来、私自身過去を振り返る悪癖から抜け出せないからだ。曰く、「あの時、こうしておけば良かったのに」、「あの地震さえなかったら・・・」といった述懐である。被災地、仙台の出身であるため、余計に懐旧の情は深いのかも知れない。▼しかしながら、人は出発点に戻ることは出来ない。通り過ぎた駅をもう一度見ることも出来ないのが人生の条理でもある。▼フランスの思想家ロマン・ロランは「魅せられたる魂」で、こう語っている。「人生は往復切符を発行していません。ひとたび出立したら、再び帰ってきません。」そこにあるのは、言うまでもなく、勇気を持って自分の道を切り拓いていかなさ

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。